

# 北信越

問い合わせ先

新潟支局  
新潟県農業共済組合 (NOSAI新潟)  
☎ 025-288-6888

長野支局  
長野県農業共済組合 (NOSAI長野)  
☎ 026-217-5800

富山支局  
富山県農業共済組合 (NOSAIとやま)  
☎ 076-461-5333

石川支局  
石川県農業共済組合 (NOSAI石川)  
☎ 076-239-3111

福井支局  
福井県農業共済組合 (NOSAI福井)  
☎ 0778-53-2701

# 未来への基盤づくり

## ICT活用した水稲栽培を実証

小坂営農組合 富山県南砺市

【富山支局】「スマート農業のモデル地区を目指して、農業の省力化と農機員の近代化に力を入れている」と話すのは、南砺市の「小坂営農組合」の常本孝悦さん(70)。同組合は米の生産を主体とし、情報通信技術(ICT)を活用した水稲栽培の実証実験を「となみ衛星通信テレビ株式会社(TS-T)」と「株式会社farmo」と共同で行っている。

水稲栽培では、育苗ハウスでの温度管理や水田の水管理をこまめに行う必要がある。同組合の構成員は大半が兼業農

家で、そのこまめな管理が負担となっていた。この問題を解消するために、2018年に本格的なスマート農業プロジェクトの一環として、タブレット端末による育苗ハウスのモニタリングと水田の水管理省力化事業をスタートさせた。

まず、育苗ハウスに温度と湿度、地中温度を測定できるセンサーを設置。タブレット端末でハウス内の状況をリアルタイムに確認できるようにした。また、水田管理の省力化事業として、試験圃場内に水位センサーと水口に水門の役割となる給水ゲートを設置し、現地に行かずに水位の確認と給水ゲートの開閉の調整をできるようにした。

同組合のスマート農業プロジェクトを支援するTS-Tの浅谷一寛さんは、「いずれも省電力で広域の無線通信が可

## 育苗ハウスの温湿度 水田の水管理 自動化で時短、コスト削減



水門が自動開閉する給水ゲート



水位を測るセンサー

能な「LPWA」で通信をし、安価で見やすいアプリで提供することで実現できた。結果、管理にかかる時間の大幅な短縮とコスト削減につながった。現在は、タブレットだけでなく、テレビでも育苗ハウスの温度や圃場の水位の確認ができるように取り組んでいる」と話す。

今後は、全圃場での水位センサーと給水ゲートの設置および実用化に向けて試行錯誤しているという。

来年から土地改良や営農組合の統合で耕地面積が増える予定の同組合。「若い世代が農業をする際の負担が減るよう、スマート農業の基盤づくりを進めている。この水田管理省力化事業がスマート農業へのワンステップであり、将来、スーツで農業ができる姿を目指したい」と常本さんは意気込む。

を深めてきた。

同チームは今年2月に発足。小松市を練習の拠点とし、女子プロサッカー「WEリーグ」の参入を目指している。選手の多くが加賀温泉郷の旅館で働くなど、地域を盛り上げる役割も担う。コロナ禍で旅館の休業日が増える中、本田さんがチーム関係者と知り合

を手伝う。参加する業が初めて。トマトなどの作業内容を具体的に丁寧に説明を開始する。

「作業の飲み込み

てきばきと農作業にできるの、とて「参加した選手からの苦勞と手間が分かる経験となった。力強い、大変なことあり、地域交流ができて」といふ声があつた。地産地消に力を入



試験圃場で。手前から常本さん、小坂営農組合サイバー担当の北村孝志さん、TS-Tの浅谷さん

## 女子サッカー選手をボランティアで受け入れ

「手伝いに来てもらうと、より活気が出る」と話す本田さん

## 笑って地域を元気に

公市・本田 雅弘さん



収穫したトマトを手にする選手。「チームを知ってもらい、地域貢献ができれば」と村松鉄修監督(23歳、後列右)



「手伝いに来てもらうと、より活気が出る」と話す本田さん

五つ星



辻直也さん 小浜市・34

## 祖父母のた牛飼いの



【長野支局】繁殖飼育する祖父母が引き継ぐため、木高原の田中詩乃さん(27)が会社を退職し、牛



御嶽山の麓の牧場。昭人さん、祖母子さんと一緒に詩乃さん